

な～に谷っ戸ん田 5 年目 第 42 回目 - 落ち葉かき、大豆の選別、竹林整備 -

と き:平成 24 年2月 18 日(土)9:30～16:00

と ころ:谷っ戸ん田の雑木林、作業小屋、竹林

天 気:晴れ

参加者:石田、磯、霧生、久保、坂本、佐々木夫妻+ユウ(夫子は午前)、高田夫妻、藤田(午前)
松本(洋) 計 12 名(大人 11+子ども 1)

活 動:

【午前】

- ・集合時間には、すでに園主と近隣の農家の方達が雑木林の階段周辺の下草刈りを始めており、チェーンソーで伐採作業等もしていた。一部はホダ木として使うのかもしれない。
- ・落ち葉を片付けた土のみえるエリアに集まるのか、広場周辺の雑木林にはシジュウカラやメジロ等小鳥の姿が多く見られた。
- ・広場の右上あたりを中心に刈払い機 2 台で下草を刈り、くまででかき集めた笹や落ち葉等をシートで田んぼに集める作業をした。
- ・作業小屋にて来年の種まき用の大豆(白・黒各 3 キロ程度)の選別作業をすませた 4 人も 11 時半頃には落ち葉かきに合流。改めて大豆をみると、白は生育の悪いもののがかなり混じっている印象だった。

【昼休み】

- ・各自お弁当など。
- ・高田さんが、ダッチオープンで焼林檎を作りふるまってくださった。
(林檎の甘い香りを満喫しました。美味しかったです。)

【午後】

- ・全員で竹林に移動。荒れていた斜面全体を刈り払い機で一掃し、刈った笹等をくまでで小道周辺におろしていった。途中、何本かタラの木を見つけたが、その芽はまだ小さく硬い。
- ・斜面がきれいになったので、昨年度に伐採して腐食するのを待っていた竹をおろしやすくなった。やっとチップーの出番がくる。
- ・カマをもっていかなかったので斜面に生えていたツル状の植物を十分に刈り取ることができていないように思う。次回以降、取り組みたいところだ。

【その他】

- ・翌週は味噌作りの予定。金曜日から大豆を水に浸しておく必要があるので、白大豆(約 11 キロと 2010 年度の残り(?)約 4.5 キロ)を参加者が手分けして持ち帰り。当日、浸したものを持ち寄ることとした。
- ・17 時から園主宅を訪問して話合いをして下さることになった石田さん、高田夫妻、久保さんを残し、16 時頃一旦解散。話合いの結果は、次回伺うことになるだろう。

記録:霧生